

ポスターセッション

- + クラウドテスト管理ツール「CAT」のご紹介
藤田 章奨 (株式会社 SHIFT 営業本部)
- + ベリサーブによる「第三者検証サービス」のご紹介
(ベリサーブ 中部事業部営業部)
- + JSTQB の活動紹介
(JSTQB 技術委員)
- + ソース解析ソリューション リバース+部品探しツール「T-SEED」
(東海ソフト株式会社)
- + 何故 PMO はコミュニケーションを重要視するのか
藤田 航輝/仲田 洋平/河合 和樹/金田 芳博/横地 真吾/山崎 拓人/木南 浩司
(株) マネジメントソリューションズ/刈推)
- + バグ票で変える/バグ票で変わるコミュニケーション品質
ちかみ かつゆき/すずき しょうご (バグ票ワーストプラクティス検討プロジェクト)
- + 診えていますか? 炎上の兆候
柏原 一雄 ((ソフトウェア品質技術者のための) データ分析勉強会)
- + 自分を中心に人間相関図を書いてみよう ~ 仕事のモチベーションにつながる人間関係とは ~
秋元 重徳 (バルテス株式会社)
- + みんなでやろう (^_^) 「欠陥連鎖チャートを応用したテストケースの抽出パターンの見える化」
らち (TEF 東海)
- + 『触れてみて初めて気づく こともある!? その製品の 品質特性』
~ 魅力品質勉強会 ユーザビリティテスト実践編 ~
(魅力品質勉強会)
- + AFFORDD 中部部会の紹介
田代 大喜 (AFFORDD 中部部会)
- + テストについて勉強する機会、不足していませんか? ~ CT3 / TEF 東海セミナーのご案内 ~
やの よしを (JaSST 東海)

タイトル	クラウドテスト管理ツール「CAT」のご紹介
発表者	藤田 章奨（株式会社SHIFT 営業本部）
概要	<p>充実の機能でテストの管理工数50%削減！</p> <ul style="list-style-type: none"> ○オンライン上でケースを一元管理 ○テスト実行と連携した障害レポート機能 ○リアルタイムでの進捗管理 ○テストの予定を自動入力 ○テスト仕様書の検索とコピー ○テストケースのインポート・エクスポート ○柔軟なコミュニケーション ○シームレスな連携

タイトル	ベリサーブによる「第三者検証サービス」のご紹介
発表者	ベリサーブ 中部事業部営業部
概要	<p>市場ニーズに応じ、様々な製品の高機能化・高性能化が進む中、これを構成するソフトウェアも複雑化・規模拡大の一途をたどっています。</p> <p>しかしその一方で、更なるコスト低減、高品質化が求められている最中、ソフト開発現場では、QCD改善を目指し様々な施策を検討・実施する上で、ソフトウェアへの「第三者検証の重要性」が高まっています。</p> <p>私どもベリサーブは、各企業様でのQCD改善に寄与すべく、700社以上の企業様での業務実績と、学識経験者を交えた研究活動を通じ、研鑽した弊社検証技術を元に、様々なサービスをご提供致しております。</p> <p>今回のポスターセッションでは、各企業様での課題をお伺いし、課題解決に向けて、共に考える場にしたいと考えています。</p>

タイトル	JSTQBの活動紹介
発表者	JSTQB技術委員
概要	<p>本セッションでは、ソフトウェアテストの国際的な資格認定スキームであるISTQB(International Software Testing Qualifications Board)の日本での加盟団体であるJSTQBの活動をご紹介します。</p> <p>特に今回は、2016年2月より日本でも認定試験が開始されるAdvanced Level テストアナリスト編の内容が中心となります。</p> <p>また、ISTQBのパートナー認定制度についてもご紹介する予定です。</p>


タイトル	ソース解析ソリューション リバース+部品探しツール「T-SEED」
発表者	東海ソフト株式会社
概要	<p>弊社で開発したリバースツールにより、 従来は人が作成した資料を自動で生成できるようになりました。</p> <p>既存のツールでは出力の難しかった図の作成に対応し、解析結果とあわせて、ソフトの見える化を実現します。</p>

タイトル	何故PMOはコミュニケーションを重要視するのか
発表者	藤田 航輝／仲田 洋平／河合 和樹／金田 芳博／横地 真吾／ 山崎 拓人／木南 浩司 ((株)マネジメントソリューションズ／刈推)
概要	<p>「テスト計画はしっかり立案した！テスト設計も万全だ！テスト技法に抜かりはない！」</p> <p>しかし、小さな落とし穴に気付かず、いつの間にやら障害が膨大に発生し、目の前の作業に追われているうちに取り返しのつかないことに...なんて事態も。</p> <p>これらの問題の原因が、コミュニケーションに関わることであったという経験はありませんか？</p> <p>小さなコミュニケーションミスの積み重ねが、開発品質に大きな影響を及ぼすこともあります。</p> <p>「コミュニケーション」というアプローチで、テスト品質・生産性向上のためにできることを考えてみませんか。</p> <p>様々なプロジェクトで現場に根ざしたソリューションを提供してきた、PMOならではの知見をご紹介します！</p>

タイトル	バグ票で変える／バグ票で変わるコミュニケーション品質
発表者	ちかみ かつゆき／すずき しょうご (バグ票ワーストプラクティス検討プロジェクト)
概要	<p>コンウェイの法則の系 (Cristian Bird-Making Software § 1 1, 2011) で知られるようにソフトウェアの品質はそれを開発した組織構造、そして組織間のコミュニケーションに依存します。</p> <p>開発現場ではコミュニケーションを支える主要なツールとしてバグ票が使われており、バグ票はソフトウェア開発現場で最も多くの関係者が目にする文書です。</p> <p>私たちはそんなバグ票の活用方法を有志で研究しているコミュニティです。JaSST等で参加者にご協力頂くアンケートの実施によりバグ票が「うまく活用できない事例」を収集してきました。</p> <p>今回は、アンケートで見えた開発組織におけるコミュニケーションでバグ票を活用する場合の"ハマリポイント"を共有します。</p> <p>あまりにも身近、それゆえに顧みられる機会の少ないバグ票ですが、バグ票を通してコミュニケーションの課題を意識することで、コミュニケーション品質、ひいてはソフトウェア品質を考えてみませんか？</p>

タイトル	診えていますか？炎上の兆候
発表者	柏原 一雄 ((ソフトウェア品質技術者のための) データ分析勉強会)
概要	<p>プロジェクトが"炎上"した経験はあるだろうか？ 多くのプロジェクトマネージャや開発者が、 「納期間際になってもテストが消化しきれず、毎日不具合が発見され続け、 いつになったら開発が終わるのかわからない。」という状況を経験しているのではないだろうか？</p> <p>計画した品質のソフトを遅れずにリリースするためには、早く炎上の兆候を掴み、手を打つことが重要となる。 病気と同じで、手遅れになる前に兆候が掴めれば、炎上を防ぐ／炎上から抜け出す可能性が生まれる。</p> <p>「ソフトウェア品質技術者のためのデータ分析勉強会（2015年度 第6回）」と「ソフトウェアテストシンポジウム 2014 東海（SIG）」でワークショップを実施し、業務や立場の異なる約30名により、炎上の兆候とその兆候を検知するメトリクスを洗い出した。</p> <p>このワークショップで作成された成果物を整理し、「炎上の症状の関連図」と「炎上の兆候を掴む問診票」を作成した。</p>

タイトル	自分を中心に人間相関図を書いてみよう ～仕事のモチベーションにつながる人間関係とは～
発表者	秋元 重徳 (バルテス株式会社)
概要	<p>開発の現場ではお客様先に常駐することも多く、 自社の人間との交流の時間があまり取れていない場合があります。</p> <p>そんな状況で社内の人間関係はきちんと構築できているでしょうか？</p> <p>そもそも、きちんとした人間関係とは何でしょうか？</p> <p>本発表では、「自分を中心に人間相関図を書いてみる」という事を通じて安心して仕事を行うための人間関係や、仕事のモチベーションにつながる人間関係について考えてみたいと思います。</p>

タイトル	みんなでやろう (^^)♪ 「欠陥連鎖チャートを応用したテストケースの抽出パターンの見える化」
発表者	らち (TEF東海)
概要	<p>井田達也 他 「欠陥連鎖チャートを用いたレビュー方法の提案」 (2014SQiPシンポジウム) をご存知ですか? http://www.juse.jp/sqip/symposium/2014/timetable/files/ronbun_A2-1.pdf</p> <p>一言でいうと「兆候から仮説たて、欠陥の傾向を導き出そう」というものです。</p> <p>これと同じように、テストケースを洗い出すときにやっていますよね。</p> <p>例えば</p>  <pre> graph LR A["1 兆候 条件分岐を示す単語が使われている"] --> B["1 仮説 条件の漏れがある"] B --> C["1 テストケース デシジョンテーブルテストを実施する"] </pre> <p>仕様書を読むとき、「場合」や「とき」という条件分岐を示す単語が使われていると、条件の漏れがあるかも知れないという仮説を立てて、デシジョンテーブルを使ってテストケースを作ること、無意識のうちにやっていませんか? こんな無意識にやっていることをみんなでホワイトボードに書いて、共有しませんか?</p>

タイトル	『触れてみて初めて気づくこともある！？その製品の品質特性』 ～ 魅力品質勉強会 ユーザビリティテスト実践編 ～
発表者	魅力品質勉強会
概要	<p>「魅力的な製品を作るために、どのような品質特性に着目して評価したらよいか」をテーマに掲げ、約1年半にわたってユーザビリティテストについて勉強してきた『魅力品質勉強会』から、今回ご紹介いたしますのは『ユーザビリティテスト実践編！』です。</p> <p>テキスト「ユーザビリティテストング (黒須正明 著)」の輪講を終え、その集大成としてついに！ 某社製品を対象としたユーザビリティテストを実際に行いました。</p> <p>今回のポスターセッションでは、私たちが実際に行ったユーザビリティテストの様子をご紹介しますと共に、これまでに学んだ内容にも簡単に触れつつ、ユーザビリティテストが製品開発に何をもたらしてくれるのかを皆様にお伝えできればと思います。</p> <p>たくさんの新たな気づきと、笑い (!?) が得られたユーザビリティテストの、その魅力を少しでも感じていただければ幸いです。</p>

タイトル	AFFORDD中部部会の紹介
発表者	田代 大喜 (AFFORDD中部部会)
概要	<p>昨年6月より、派生開発推進協議会(AFFORDD)の地方部会として、AFFORDD中部部会を発足しました。</p> <p>本部会発足の動機は、 「中部で何か面白いことをやりたい！」 です。</p> <p>本部会は参加者一人一人が主役です。 参加者が中部部会で「やりたいこと」「得たいこと」「知りたいこと」などを参加者全員で共有し、活動内容を決めていきます。</p> <p>今回のポスターセッションでは、本部会の活動内容、参加するメリット、参加方法など、詳しくご紹介&説明します。</p>

タイトル	テストについて勉強する機会、不足していませんか？ ～CT3/TEF東海セミナーのご案内～
発表者	やの よしを (JaSST東海)
概要	<p>テストについてざっくばらんに議論したい、テストについてもっと知識を深めたい、、、そんな想いを抱くエンジニアを救うべく、JaSST東海実行委員会&TEF東海では、今年からCT3(Casual Test Talk in Tokai)、およびTEF東海セミナーを月一(目標^^)で開催することにしました。</p> <p>CT3では、特定のテーマの下、東海地域の現場のエンジニアに講演いただき、さらに集まったメンバでそのテーマについてざっくばらんに議論します。</p> <p>TEF東海セミナーでは、色々な分野の講師(重鎮)をお招きし、テスト技術に関して深く学びます。</p> <p>今回のポスターセッションでは、これまでに取り扱ったテーマを紹介するとともに、「こういうテーマでトークしたい」、「この技術について勉強したい」といったネタを募集します。</p> <p>よろしくお願いします！</p>